

公開講演会

ドイツ・スウェーデンにおける「ESDの10年」の成果と課題

「国連持続可能な開発のための教育の10年（UNDESD）」が始まってから、5年が経とうとしています。世界的にESDの取り組みが行われ、様々な成果をあげている今日、ドイツとスウェーデンは“ESD先進国”といわれ、幼児教育から大学教育までのESD推進に大きな役割を果たしています。両国でESDのリーダーを務めるゲルハルド・デ・ハーン氏、カール・リンドバーグ氏をお招きし、その成果と今後の課題についてご講演いただきます。そして、残り5年、これからの日本のESDはどのように推進していくべきか、探りたいと思います。

◆日時：2009年10月3日（土） 13:00～15:00（開場12:30～）

◆場所：立教大学池袋キャンパス5号館5302

キャンパスマップ <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campus.html>

◆講師（※講師の都合により、変更になる場合があります。）

ゲルハルド・デ・ハーン氏（ドイツESD円卓会議議長、ドイツ・ユネスコ委員会化学専門部
委員）

カール・リンドバーグ氏（「ESDの10年」ユネスコ・ハイレベルパネル委員）

◆司会

阿部治（立教大学社会学部・異文化コミュニケーション研究科教授／ESD研究センターセンター長）

◆主催：立教大学ESD研究センター

◆申込み方法（先着50名、参加費無料、通訳あり）

ESD研究センター（esdrc@grp.rikkyo.ne.jp）までメールにてお願いいたします。件名に「10月3日公開講演会」と入れていただき、お名前、ご所属、ご連絡先（メールアドレス）をお送り下さい。ESD研究センターHPの申込フォームからも登録可能です。